

一般質問
議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。23名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

猪又 隆広 議員
問 コロナ禍を踏まえ、災害時に避難所の混雑状況を確保できるシステムを構築すべき。
答 避難所ごとの避難者数を、本市ホームページ等で確認できる仕組みを検討したい。
○GIGAスクール構想に係る高速ネットワーク早期整備
○新たな情報担当課の設置を
○ICT推進校の市長視察を
○災害の危険がある地域の妊婦、重度障害者のホテル宿泊支援
田村 勝 議員
○福田町移設の進捗状況
○岡田・南福室地区に仙石線の駅へ向かう地域交通の導入を
○日本郵便と、白鳥・仙台港周辺に郵便局設置の再交渉を
○七北田川と並行して流れる和田新田堀の整備を
○栄・出花の冠水対策のため中野雨水ポンプ場の増設を
○東部沿岸部に特化した分かりやすく一体的な魅力発信を
○仙台港周辺の大気監視体制
千葉 修平 議員
○太白カントリークラブのメガソーラー計画は、防災、景観・観光、住民と事業者との信頼関係の点から問題がある。本市まちづくりの理念に照らし、規制条例が必要ではないか。
答 条例制定は考えていないが、アセスメントの対象要件の見直しを検討していく。
○仙台市基本計画中間案の評価と抱負は、より野心的な目標を立て、市民の誇りを。
村岡 貴子 議員
○新型コロナウイルス拡大防止策

一般質問

審議の概要

市民と未来のために

市民と未来のために

市民と未来のために

市民と未来のために

市民と未来のために

国・県に要望しつつ、子育て施策について熟慮を重ねる。
民主フォーラム仙台
山下 純 議員
子どもたちの快適な学び場と、夏の災害時の避難場所確保の観点から、体育館にエアコンを設置すべき。
答 体育館へのエアコン設置は課題があるが、避難所としての環境整備も必要であり、今後の方向性を検討したい。
○早産や低出生体重児に配慮した母子健康手帳
○本市におけるひきこもり者の実態把握と支援
貞宗 けんじ 議員
子育て支援制度の利用申請をオンライン化し、妊婦や子どもを連れた方が来庁する負担を解消するべき。
答 窓口での課題を整理し、検討を進める。また、開発中の子育て情報発信のためのアプリを最大限に活用する。
○AI・OCRを活用し、保育所入所選考業務の効率化を
○郡山折立確保大野田工区による安全確保を実施せよ
佐藤 わか子 議員
問 新型コロナウイルスの脅威から子どもたちの命を守るため、密を避ける35人以下学級の実現を。
答 中学校は実施済みだが、小学校ではさらに経費を要するため、課題を整理し検討したい。
○不登校対策でフリースクール・ICT学習も出席扱いに
○病児・病後児保育はスマホで空き情報の見える化を
○認知症の早期診断につながる物忘れ検診の導入を
村上 かずひこ 議員
○市役所への爆破予告は非公表だったが、市民に情報公開することを基本とすべき
○市役所新庁舎の消費エネルギーは、全て再生可能エネルギーに設定する努力を

として今このタイミングで、繁華街など地域を限定し、幅広くPCR検査を実施すべき。
答 繁華街を対象とした検査実施に向け、課題を早急に整理し、検討を進めていきたい。
○子どもを取り巻く環境の改善のため、本市の各局がワンチームとなり家庭教育支援に取り組みむべき
高橋 卓誠 議員
問 行政のデジタル化は急務である。DX化も踏まえた本市の現状認識および取り組みを伺う。
答 社会課題の解決手段としてデジタル化が求められている。先進的に導入してきたRPAの前進等に鋭意取り組む、組織の在り方を含む推進体制なども検討していきたい。
○各局のデジタル化の取り組み
○大手門復興元市長の決断次第
松本 由男 議員
問 市長は安易な専決処分を避け、議会を招集する努力を。法の趣旨を十分に踏まえた適切な対応に努める。
答 新型コロナウイルス感染症に係る条例づくりの検討
○東日本大震災10周年追悼行事の在り方の早期検討
○コロナ禍での一生の思い出となる修学旅行実施への支援
○部活動の地域への移管準備
○未詳の飛行物体の危機管理
野田 謙 議員
問 国土強靱化地域計画には、感染症拡大や大規模な風水害発生の想定が必要。策定中の本市計画の内容について伺う。
答 計画には避難活動における感染症対策、総合的な風水害対策も盛り込んだ。さまざまな災害リスクに備えた強靱なまちづくりを進める。
○新型コロナウイルス感染者発生の際の家庭用マニュアル整備
○新型コロナウイルス対策の発信力強化

いよう市民の声を県に届けよ。
答 一月に知事に対し、市・県民への説明と多様な意見を踏まえた検討を求めた。
○コロナ禍における仙台ファイロへのさらなる具体的支援を果たすべき。
社 民 党
石川 建治 議員
問 東北学院大学泉キャンパス移転後のまちづくりに住民と共に取り組み、市の責務を果たすべき。
答 近隣の方々の声を聞き、地域に寄り添った対応に努める。
問 自宅療養中の新型コロナウイルス感染者への生活支援を求める。
答 自宅療養者増加も想定されるため、内容を検討したい。
○泉区役所の建て替えと泉中央地区の活性化
小 山 勇朗 議員
○新型コロナウイルス対策強化のため保健師増員、保健所体制確立を
○新型コロナウイルスによる労働者解雇・雇止めへの対応策を
○次期仙台市基本計画に、大都市への転出超過問題を踏まえた創業支援策や若者の定住を目指す施策を明示すべき
○種苗法改正は農業者に悪影響。ゲノム編集技術による新品種登録が可能にならないよう、国に働きかけを。
蒼 雲 の 会
安孫子 雅浩 議員
問 高齢者の運動機能や認知機能低下への予防策を伺う。

○舞台関係者へのさらなる支援
○深沼海水浴場の早期再開を
佐藤 幸雄 議員
問 おとな救急電話相談#7119がつかわりやすくなるよう、県共に改善を図るべき。
答 相談員の増員等を行ったが、回線の増強も選択肢として、共同主体の県と課題を共有し改善に努めていく。
○市有財産の利活用により、財政悪化への対策を推進すべき
○文化施設等の大規模改修の手法として、プロポーザル方式を検討・推進すべき
佐々木 真由美 議員
問 新しい生活様式における障がいのある方への配慮を周知する手引きを作成すべき。
答 障がい特性により必要となる配慮を周知するため、リーフレットの作成を進めていく。
○生活に困窮している方々への支援制度周知の必要性
○活動自粛中の町内会への支援
○重層的支援体制整備事業の積極的な取り組みについて
○所有者不明土地問題への対策
鎌田 城行 議員
問 キッチンカーの機動力を生かし、災害時に被災者へ温かな食事を提供するための支援協定を締結してはどうか。
答 車両数や稼働場所、食事の種類等を整理・検討する。
問 子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで引き上げるべき。
答 市独自に拡充を図っているが、年齢基準引き上げを

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

- UPZ(注1)(3面2段) Urgent Protective action planning Zoneの略で、原子力発電所からおおむね半径30キロメートル(半径5キロメートル圏を除く)の区域。原子力発電所で事故が発生し緊急事態となった場合に、放射性物質が放出される前の段階から屋内退避などの防護措置を行う。
- 火育(注2)(3面6段) ライフスタイルの変化に伴い、火を扱ったことがない子どもが増えている中、火に親しみ、火の持つ力や怖さ、正しい使い方を学ぶ体験学習を通じて、豊かな心を育み、災害などにも役立つ生きる力を高めること。
- メガソーラー(注3)(4面1段) 一般に出力が1MW以上の太陽光発電施設のこと。再生可能エネルギーの固定価格買取制度の開始以降、全国で建設が増加した。森林伐採等による環境への影響や土砂災害の誘発などの課題が指摘されている。
- DX(注4)(4面2段) Digital Transformationの略。英語圏ではTransを省略する際に「X」と表記することが多いため、「DX」と表記する。経済産業省の定義では企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
- SLA(注5)(7面1段) Service Level Agreementの略。サービス品質保証とも呼ばれ、サービス提供者と顧客との間で、サービスレベルを定義し、維持していくことが求められます。当局には、新交通プランおよび地域公共交通計画の策定に当たり、市民や民間事業者との協議の機会を捉え、地域交通の確保や持続可能な交通体系の構築に向けて、着実に歩みを進めるとともに、できる限り速やかな交通体系の確立にも尽力することを求めます。
- 地域経済活性化調査特別委員会 委員長 高見 のり子 副委員長 菅原 正和
- 交通政策調査特別委員会 委員長 佐藤 わか子 副委員長 佐藤 和子
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 学校トイレを清潔に保つことは感染症予防につながる。早急に設備の修理や尿石除去剤の注入を行うべき。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 換気扇の故障など不具合が発生した際には学校からの依頼を受けて修繕をしている。臭いに関しては尿石除去剤を使った清掃等も実施している。今後も学校からの要望などに応じて、できるだけ早期に修繕できるよう努めたい。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 学校トイレを清潔に保つことは感染症予防につながる。早急に設備の修理や尿石除去剤の注入を行うべき。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 換気扇の故障など不具合が発生した際には学校からの依頼を受けて修繕をしている。臭いに関しては尿石除去剤を使った清掃等も実施している。今後も学校からの要望などに応じて、できるだけ早期に修繕できるよう努めたい。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 学校トイレを清潔に保つことは感染症予防につながる。早急に設備の修理や尿石除去剤の注入を行うべき。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 換気扇の故障など不具合が発生した際には学校からの依頼を受けて修繕をしている。臭いに関しては尿石除去剤を使った清掃等も実施している。今後も学校からの要望などに応じて、できるだけ早期に修繕できるよう努めたい。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 学校トイレを清潔に保つことは感染症予防につながる。早急に設備の修理や尿石除去剤の注入を行うべき。
- 市民と未来のために 伊藤 ゆづた 議員 換気扇の故障など不具合が発生した際には学校からの依頼を受けて修繕をしている。臭いに関しては尿石除去剤を使った清掃等も実施している。今後も学校からの要望などに応じて、できるだけ早期に修繕できるよう努めたい。

調査特別委員会 委員長報告

令和元年10月23日に設置された調査特別委員会の1年間の活動概要が、9月4日の本会議において各調査特別委員長から報告されました。

交通政策調査特別委員会
委員長 佐藤 わか子 副委員長 佐藤 和子
本委員会は、少子高齢化社会に対応した利便性の高い公共交通体系による、持続可能なまちづくりの実現に向けた交通政策を推進することを目的に設置され、6回にわたり委員会を開催しました。交通政策は、市民生活の基盤であり、利用者の需要や利用目的の変化、技術の発達といった変化を適時、的確に捉えながら、

地域経済活性化調査特別委員会
委員長 高見 のり子 副委員長 菅原 正和
本委員会は、地場産業・中小企業の活性化や、起業拡大などによる地域経済政策の推進および雇用促進と、中心部にぎわい創出や地域資源の活用などを通じた交流人口の拡大による経済の活性化を図ることを目的に設置され、「新たな仙台の顔づくりについて」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。当局に

防災・減災推進調査特別委員会
委員長 ひぐち のりこ 副委員長 沼沢 しんや
本委員会は、東日本大震災の記憶を風化させない取り組みの推進と、多様な市民が主体となった地域防災力の向上および災害に強い防災環境都市の実現を目的として設置され、「災害の多様化に対応する防災・減災対策について」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。豪雨災害の頻発化・激甚化を受け、各

子育て環境充実調査特別委員会
委員長 小田島 久美子 副委員長 石川 建治
本委員会は、次代の社会を担う子どもたちが健やかに育つことのできるよう、子育て環境の充実を図るとともに、いじめ防止に向けた社会全体の意識の醸成の取り組みの推進を目的として設置され、「子育てしやすい環境の整備と地域の子育て支援力の充実」をテーマに、6回にわたり委員会を開催しました。切切目の

スポーツ振興調査特別委員会
委員長 橋本 啓一 副委員長 すげの 直子
本委員会は、スポーツを通じた地域活力の創出および市民一人一人の健康増進や生きがいづくりに向けて、スポーツ資源を活用した取り組みの推進を目的として設置され、「地域活性化に向けたスポーツ施策の充実」をテーマに、5回にわたり委員会を開催しました。スポーツというものは、地域を、人々を元気にする大きな推進力を持つていると改めて認識しており、当局には、新型コロナウイルスへの対策も進めながら、スポーツをする側と支える側それぞれ多くの市民が積極的に参画できる機運を醸成するとともに、地域コミュニティの活性化が図られるような、真に実効性のあるスポーツ施策の推進に取り組まれるよう強く要望します。

びんの提供事業者が契約者に対してどの程度までサービスの品質を保証できるかを明示し、合意・契約するもの。
●マイ・タイムライン(注6)(7面2段、3段)
風水害の発生に備え、自身や家族の取るべき行動について住民自らが時系列で整理し作成する、わが家の避難計画のこと。風水害時の安全な避難行動につながる効果が期待される。
●CSW(注7)(7面3段) Community Social Workerの略。地域の福祉的課題解決に向けて、関係機関・団体とのネットワークを活用しながら、支援が必要な人に対する見守りや相談援助、必要なサービスへのつなぎ等を行う支援者のこと。
●支援措置(注8)(7面4段) DV等の被害者からの申し出に基づき、加害者から住民基本台帳の一部の写し等の閲覧や住民票・戸籍の附帯の写し等の請求・申出があっても、閲覧・交付を制限する措置をいう。
●御城印(注9)(7面4段) 和紙などに城の名前や城主の家紋などをあしらったもので、城を訪れた記念の証として、全国多くの城で販売されている。売り上げの一部を、城の整備・活用等に充てているケースもある。
●屠体給餌(注10)(7面6段) 農作物を荒らす有害鳥獣として駆除されたシカやイノシシなどを、動物園において肉食動物の餌として与える取り組みのこと。捕獲動物の廃棄を減らすとともに、肉食動物の狩りをする感覚を取り戻し、ストレスを軽減する効果も期待される。